

Dell™ 5100MP プロジェクタ ユーザーズガイド

メモ、注意、警告



メモ：「メモ」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報を意味します。



注意：「注意」はハードウェアの破損やデータ損失の可能性があるため、このようなトラブルを防ぐための方法について記載しています。



警告：「警告」は物的損害、人的傷害、もしくは死傷につながる可能性のある事項を意味しています。

本書に記載された内容は予告なく変更されることがあります。

© 2007-2008 Dell Inc. All rights reserved.

Dell 社の事前の書面による許可なく本書を再製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL のロゴは Dell Inc. の商標です、DLP および DLP® のロゴは Texas Instruments の商標です、Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名称はそれぞれの所有者に帰属するものです。Dell 社は他社の所有する商標や製品名に対し一切の主張を放棄します。

2008 年 5 月 改訂 A01

目次

1	プロジェクタについて.....	6
	プロジェクタについて	7
2	プロジェクタの接続	8
	コンピュータへの接続	9
	M1 - D-sub/USB ケーブルを使ったコンピュータへの接続	9
	D-sub - D-sub ケーブルを使ったコンピュータへの接続	10
	DVD プレーヤへの接続.....	11
	M1 - HDTV ケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	11
	D-sub - YPbPr ケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	11
	RCA - RCA ケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	12
	S-Video ケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	12
	コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	13
	BNC - VGA ケーブルを使った DVD プレーヤへの接続	13
	プロフェッショナル向け取り付けオプション： 自動スクリーンの取り付け	14
	有線 RS232 リモートコントロールの取り付け： PC との接続	15

3 プロジェクタの使用法	17
プロジェクトの電源オン	17
プロジェクトの電源オフ	17
投影されたイメージの調整	18
プロジェクトの高さを上げる	18
プロジェクトの高さを下げる	18
プロジェクトのズームとフォーカスの調整	19
投射画像サイズの調整	20
コントロールパネルの使用法	21
リモコンの使用法	23
オンスクリーンディスプレイの使用法	26
画像設定	26
オーディオメニュー	28
プロジェクト設定メニュー	29
言語メニュー	31
PIP 設定メニュー	31
ネットワーク設定メニュー	32
初期値に戻すメニュー	33
コンピュータソースメニュー	33
ビデオソースメニュー	34
RF 学習	34
Web Management からプロジェクトを管理する には	37

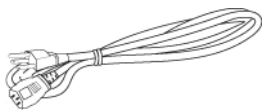
4	プロジェクタのトラブルシューティング	43
	ビデオの自己診断	46
	ランプの交換	47
5	仕様	48
	デルへのお問い合わせ	54
6	付録：用語集	55

プロジェクタについて

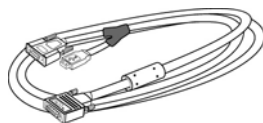
このプロジェクタには下記のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っていることをご確認ください。万一、不足品がある場合は、デルまでお問い合わせください。

同梱品

1.8 m 電源コード (3.0 m)



1.8 m M1 - D-sub/USB ケーブル



2.0 m S-Video ケーブル



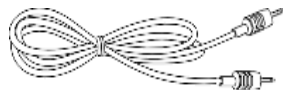
1.8 m コンポジットビデオケーブル



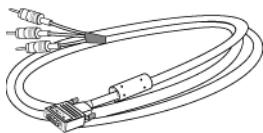
1.8 m RCA - オーディオケーブル



1.8 m ミニピン - ミニピンケーブル



1.8 m M1-A - HDTV ケーブル



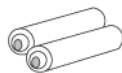
リモコン



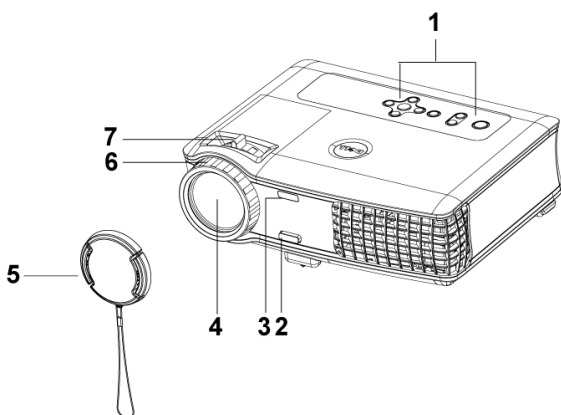
同梱品 (続き)

取扱説明書

電池 (2)

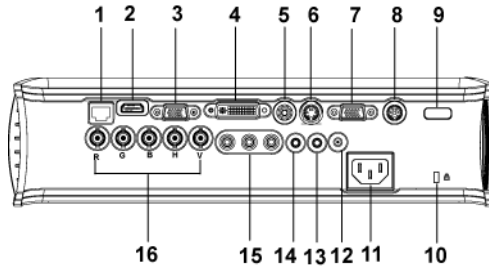


プロジェクタについて



1	コントロールパネル
2	エレベータボタン
3	リモコンランシーバー
4	レンズ
5	レンズキャップ
6	フォーカスリング
7	ズームタブ

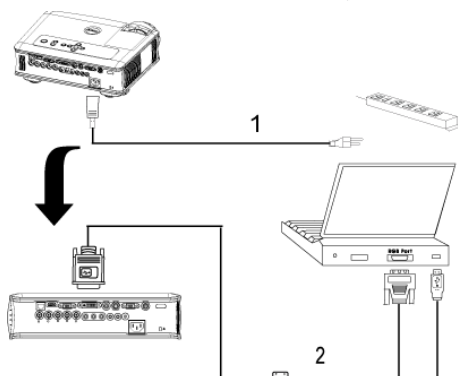
プロジェクタの接続



1	RJ45 ネットワークコネクタ
2	HDMI コネクタ
3	VGA 入力コネクタ
4	M1 信号入力コネクタ
5	ビデオ入力コネクタ
6	S-Video 入力コネクタ
7	VGA 出力コネクタ
8	RS232 コネクタ
9	IR 受信部 /RF トランシーバー
10	Kensington ロック穴
11	電源コードコネクタ
12	12 V DC リレー出力
13	オーディオ出力コネクタ
14	オーディオ入力コネクタ
15	コンポーネントビデオ入力コネクタ
16	BNC コネクタ

コンピュータへの接続

M1 - D-sub/USB ケーブルを使ったコンピュータへの接続

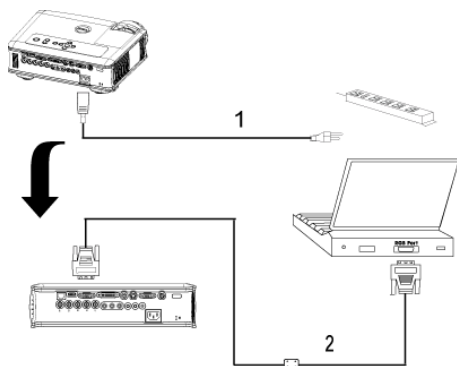


1	電源コード
2	M1A - D-sub/USB ケーブル



メモ : USB ケーブルは、USB ドングルを使用しないと接続できません。
USB ドングルの接続については、ページ 35 を参照してください。

D-sub - D-sub ケーブルを使ったコンピュータへの接続



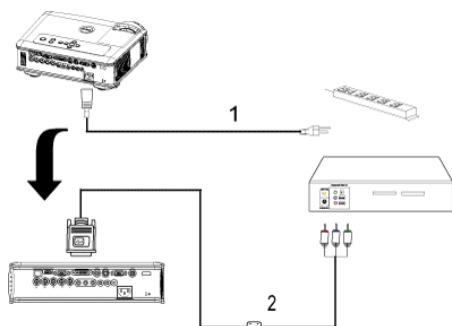
1	電源コード
2	D-sub - D-sub ケーブル



メモ : USB ケーブルは、USB ドングルを使用しないと接続できません。
USB ドングルの接続については、ページ 35 を参照してください。

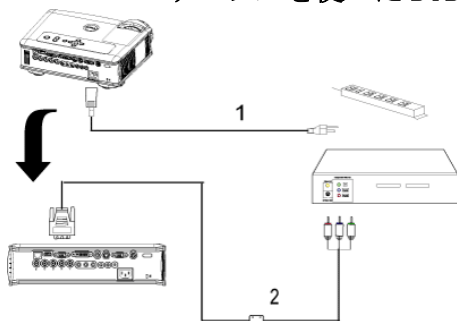
DVD プレーヤーへの接続

M1 - HDTV ケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続




1	電源コード
2	M1 - HDTV ケーブル

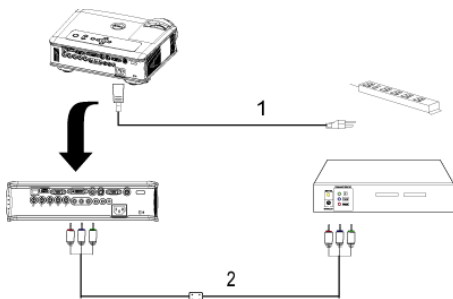
D-sub - YPbPr ケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



1	電源コード
2	D-sub - YPbPr ケーブル

 **メモ** : D-sub - YPbPr ケーブルはデルからは提供されていません。ケーブルについてはインストール専門業者にお問い合わせください。

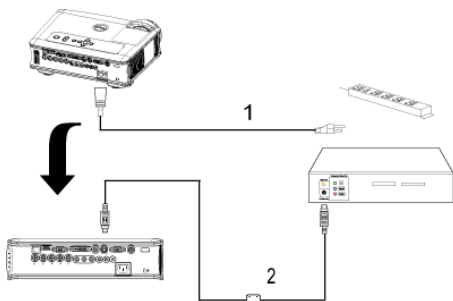
RCA - RCA ケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



1	電源コード
2	RCA - RCA コンポーネントケーブル

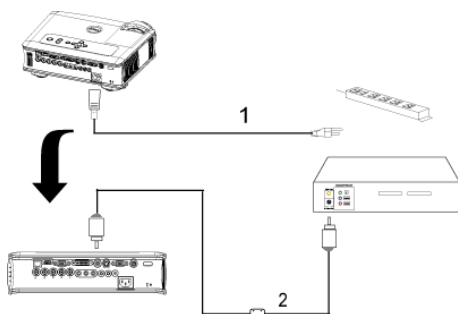
メモ : RCA - RCA ケーブルはデルからは提供されていません。ケーブルについてはインストール専門業者にお問い合わせください。

S-Video ケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



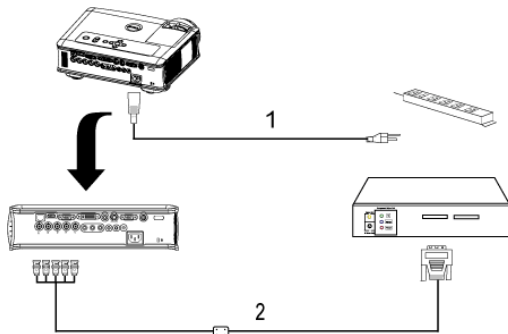
1	電源コード
2	S-Video ケーブル

コンジットケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続



1	電源コード
2	コンジットビデオケーブル

BNC - VGA ケーブルを使った DVD プレーヤーへの接続

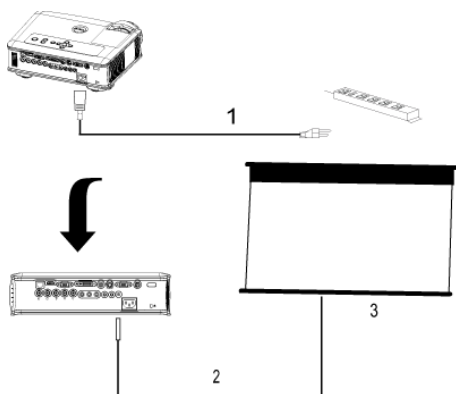


1	電源コード
2	BNC - VGA ケーブル



メモ : BNC - VGA ケーブルはデルからは提供されていません。ケーブルについてはインストール専門業者にお問い合わせください。

プロフェッショナル向け取り付けオプション：自動スクリーンの取り付け



1	電源コード
2	12V DC プラグ
3	自動スクリーン

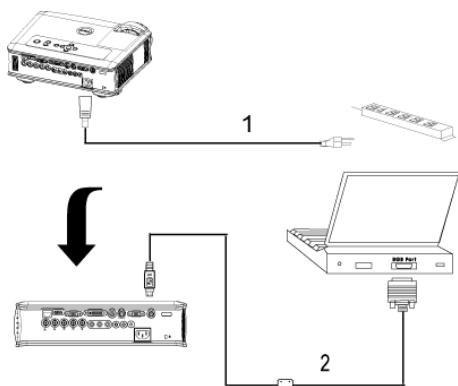


メモ：1.7mm (ID) x 4.00mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12V DC プラグを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。


12V DC プラグ



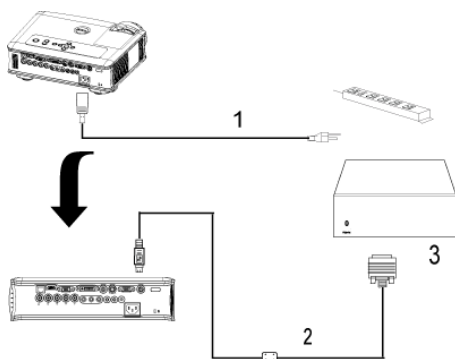
有線 RS232 リモートコントロールの取り付け : PC との接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル

 **メモ** : RS232 ケーブルはデルからは提供されていません。ケーブルについてはインストール専門業者にお問い合わせください。

市販の RS232 コントロールボックスとの接続：




1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	市販の RS232 コントロールボックス



メモ : RS232 ケーブルはデルからは提供されていません。ケーブルについてはインストール専門業者にお問い合わせください。

プロジェクトの使用法

プロジェクトの電源オン


 **メモ:** ソースの電源を入れる前に、プロジェクトの電源を入れてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅しています。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクトの接続については、ページ 8 を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの場所については、ページ 21 を参照してください）。30 秒間デルのロゴが表示されます。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤなど）の電源を入れます。プロジェクトが自動的にソースを検出します。


"信号検出中..." というメッセージが画面に表示された場合は、適切なケーブルがしっかりと接続されているかどうかを確認してください。

プロジェクトに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの **Source (ソース)** ボタンを押して、希望のソースを選択してください。

プロジェクトの電源オフ

 **注意:** 以下で説明するように正しいシャットダウン手順を踏むまでは、プロジェクトの電源を切らないでください。

- 1 電源ボタンを押します。
- 2 もう一度電源ボタンを押します。冷却ファンが 90 秒ほど回り続け、スタンバイモードになります。
- 3 時間を掛けずにプロジェクトの電源を切るには、プロジェクトの冷却ファンが作動中に電源ボタンを押します。

 **メモ:** プロジェクトの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

- 4 コンセントから電源ケーブルを取り外します。

メモ：プロジェクタ作動中に電源ボタンを押すと、「ランプを消しますか？」というメッセージが画面に表示されます。このメッセージを消すには、コントロールパネル上のいずれかのボタンを押すか、メッセージを無視します。メッセージは5秒間表示されて消えます。

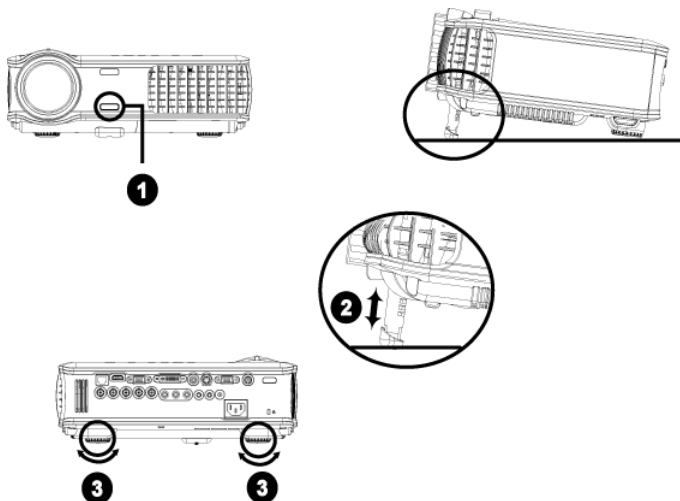
投影されたイメージの調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベータボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを放し、エレベータフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使用してディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベータボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを放し、エレベータフットを固定します。

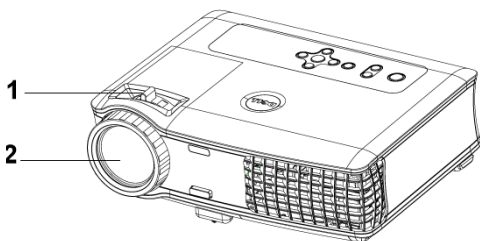


1	エレベータボタン
2	エレベータフット
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

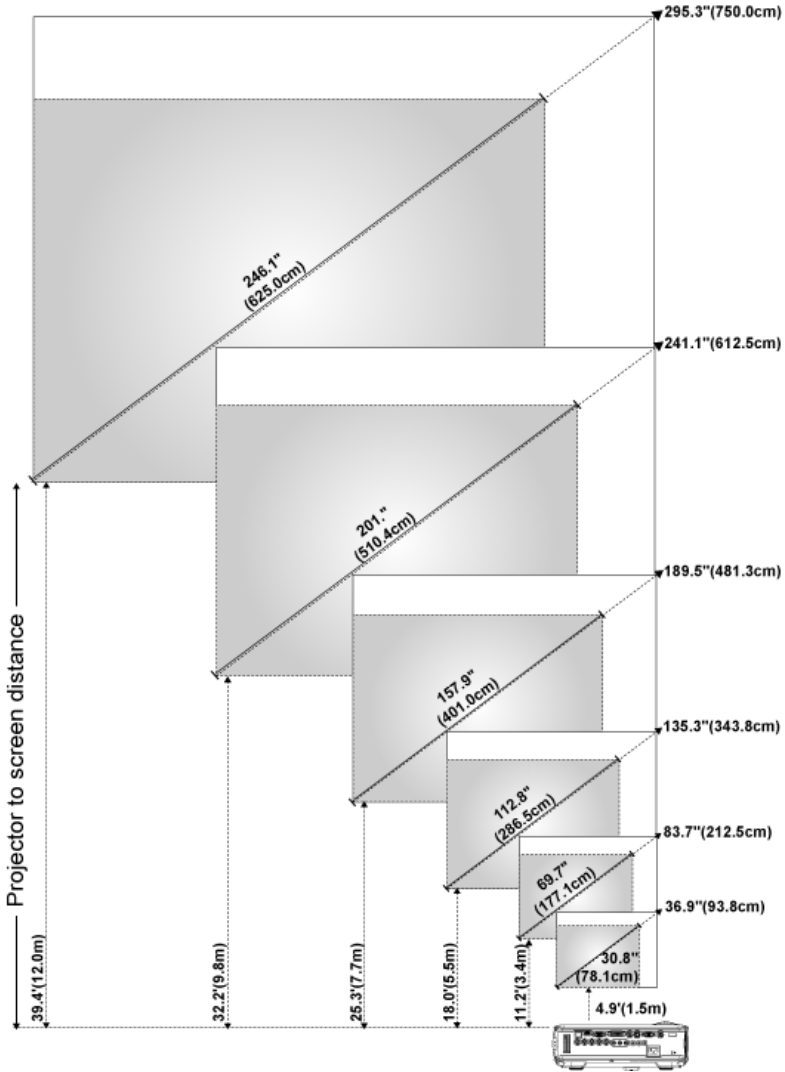
⚠ 警告：プロジェクタを破損する恐れがありますので、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認してから、プロジェクタを移動したりキャリーケースに収納したりしてください。

- 1 ズームタブを回転させて拡大または縮小します。
- 2 イメージが鮮明になるまでフォーカスリングを回転させます。このプロジェクタで焦点が合う距離は1.5～12 m (4.9 ft～39.4 ft) です。



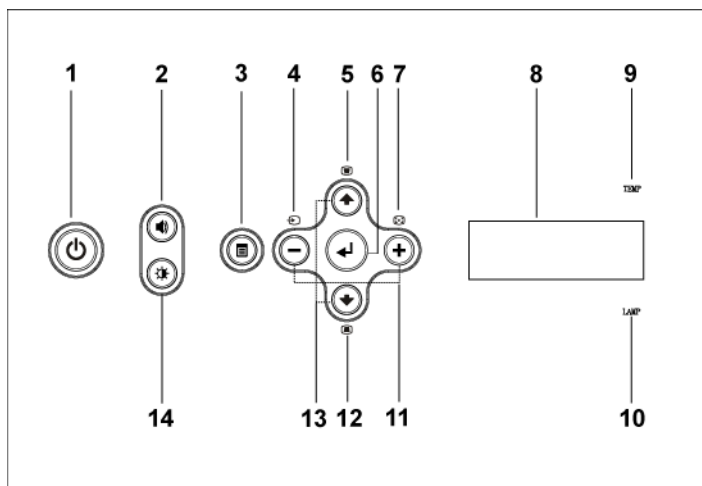
1	ズームタブ
2	フォーカスリング

投射画像サイズの調整



画面 (対角)	最大	36.9" (93.8 cm)	83.7" (212.5 cm)	135.3" (343.8 cm)	189.5" (481.3 cm)	241.1" (612.5 cm)	295.3" (750.0 cm)
	最小	30.8" (78.1 cm)	69.7" (177.1 cm)	112.8" (286.5 cm)	157.9" (401.0 cm)	201.0" (510.4 cm)	246.1" (625.0 cm)
画面サイズ	最大 (幅x 高)	29.5" X 22.1"	66.9" X 50.2"	108.3" X 81.2"	151.6" X 113.7"	192.9" X 144.7"	236.2" X 177.2"
		(75.0 cm X 56.3 cm)	(170.0 cm X 127.5 cm)	(275.0 cm X 206.3 cm)	(385.0 cm X 288.8 cm)	(490.0 cm X 367.5 cm)	(600.0 cm X 450.0 cm)
	最小 (幅x 高)	24.6" X 18.5"	55.8" X 41.8"	90.2" X 67.7"	126.3" X 94.7"	160.8" X 120.6"	196.9" X 147.6"
		(62.5 cm X 46.9 cm)	(141.7 cm X 106.3 cm)	(229.2 cm X 171.9 cm)	(320.8 cm X 240.6 cm)	(408.3 cm X 306.3 cm)	(500.0 cm X 375.0 cm)
投射距離		4.9' (1.5 m)	11.2' (3.4 m)	18.0' (5.5 m)	25.3' (7.7 m)	32.2' (9.8 m)	39.4' (12.0 m)
* このグラフはあくまでも参照用に提供されたものです。							

コントロールパネルの使用方法

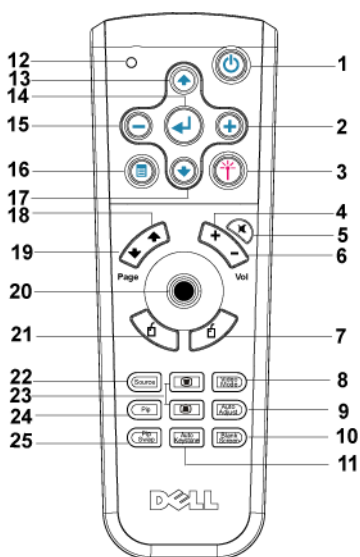


- | | | |
|---|----------|---|
| 1 | 電源 | プロジェクタの電源のオンとオフを切り替えます。詳細については、とページ 17 を参照してください。 |
| 2 | 音量コントロール | 音量を制御します。⊖ または ⊕ ボタンを押して、音量を上下させます。 |

3	メニュー	OSD が表示されます。方向キーと Menu (メニュー) ボタンで OSD を操作します。
4	ソース	プロジェクトに複数のソースが接続されている場合に、ボタンを押して、S-Video、コンポジットビデオ、M1-D、D-sub、BNC、コンポーネント、HDMI、MI の各ソースを切り替えます。
5	台形補正	ボタンを押して、プロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します ($\pm 20^\circ$)。
6	確認	このボタンを押して選択を確定します。
7	自動調整	プロジェクトと入力ソースを同期させます。 自動調整 は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は操作できません。
8	LCD ステータス表示	プロジェクトのリアルタイムのステータスを示す LCD 表示です。
9	TEMP 警告ライト	<ul style="list-style-type: none"> TEMP ライトがオレンジ色に点灯している場合、プロジェクトの過熱を意味します。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源を入れてください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。 TEMP ライトがオレンジ色に点滅している場合、プロジェクトのファンにエラーが生じたことを意味します。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
10	LAMP 警告ライト	LAMP ライトがオレンジ色に点灯している場合、ランプを交換してください。
11	⊖ と ⊕ ボタン	OSD 設定を調整します。
12	台形補正	ボタンを押して、プロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します ($\pm 20^\circ$)。
13	上 ⊕ と ⊕ 下	OSD 選択を確定します。

- 14 明るさとコントラスト制御 明るさとコントラストを制御します。☉または☐を押して明るさまたはコントラストを調整し、○ および ☉ ボタンで値を調整します。

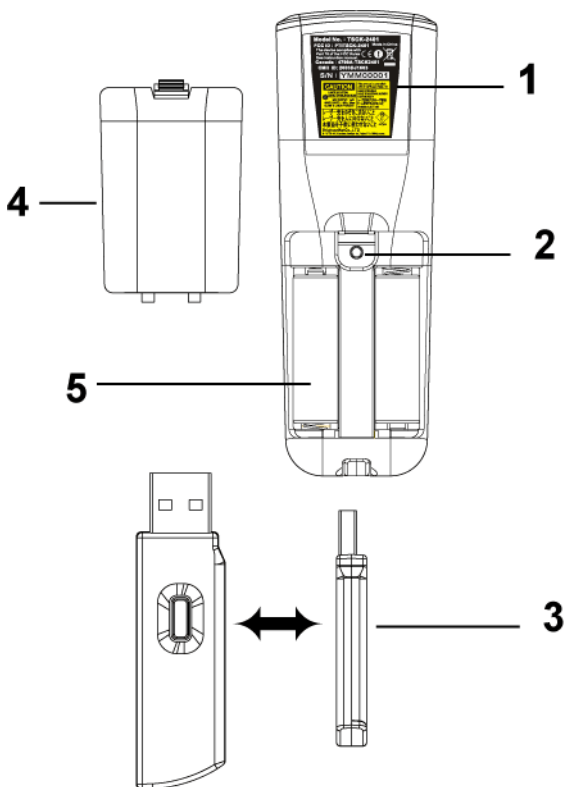
リモコンの使用方法



1	電源	プロジェクタの電源のオンとオフを切り替えます。詳細については、ページ 17 を参照してください。
2	☉	OSD 設定を調整します。
3	レーザー	リモコンを画面に向けて、レーザーボタンをしばらく押すと、レーザー光が発せられます。
4	音量 ☉	音量を上げます。
5	ミュート	プロジェクタのスピーカをミュートにするかまたはミュートを解除します。
6	音量 ○	音量を下げます。
7	右クリック	マウスの右クリック

8	ビデオモード	Dell 5100MP マイクロプロジェクタにはデータ (PC グラフィック) やビデオ (ムービー、ゲームなど) の表示を最適化するためのプリセットがあります。ビデオモードボタンを押して、PC モード、Movie モード、Game モード、sRGB、User モード (設定を保存してあるユーザーの場合) を切り替えます。ビデオモードボタンを 1 回押すと、現在のディスプレイモードが表示されます。もう一度ビデオモードボタンを押すと、モードが切り替わります。
9	自動調整	プロジェクタと入力ソースを同期させます。OSD (オンスクリーンディスプレイ) が表示されている場合、自動調整は作動しません。
10	白紙画面	画像を非表示にし、もう一度押すと画像を表示します。
11	自動台形	プロジェクタの傾斜による画像のゆがみを自動的に修正します。
12	LED ライト	LED インジケータ。
13	上ボタン	OSD 選択を確定します。
14	Enter ボタン	このボタンを押して選択を確定します。
15	⊖	OSD 設定を調整します。
16	メニュー	OSD が表示されます。
17	下ボタン	OSD 選択を確定します。
18	ページ ⬆	前のページへ移動します。
19	ページ ⬇	次のページへ移動します。
20	PC/ マウス制御	PC/ マウス制御を使用すると、マウスの動きを制御することができます。マウス機能は M1 ケーブルを使用してコンピュータとプロジェクタを接続すると有効になります。
21	左クリック	マウスの左クリック。
22	ソース	アナログ RGB、デジタル RGB、コンポジット、コンポーネント -i、S-Video、アナログ YPbPr ソースを切り替えます。
23	台形修正	画像のゆがみを修正します。
24	PIP	PIP ボタンを押して、PIP 画面のオン/オフを切り替えます。

-
- 25 PIP Swap (PIP 切り替え) PIP Swap (PIP 切り替え) ボタンを押して、
替え) 前景と背景を交換します。
-



-
- 1 レーザーに関する警告 本リモコンには、発光レーザーに Class II のレーザーを使用しております。人体損傷の危険性を低くするために、レーザー光を直視しないでください。また、レーザー光を他人の目に向けしないでください。
-
- 2 プログラムボタン **Prgm** ボタンを押して、RF 伝送チャネルを切り替えるための**学習モード**をリモートで開始します。
-

3	ワイヤレス USB マウスドングル	リモコンを通じて PC やノートブックのマウスを制御するためのワイヤレス USB デバイス。
4	リモコンカバー	リモコンの背面のカバー。
5	電池ホルダー	電池をセットする場所。

オンスクリーンディスプレイの使用法

プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) があり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。

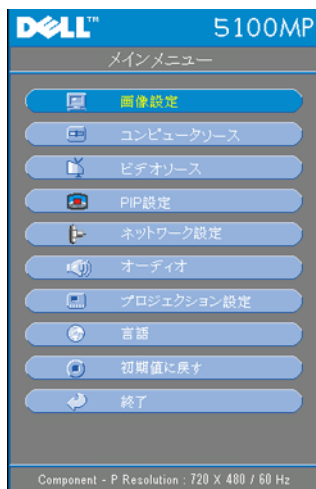
メインメニューで **+** または **+** を押してタブを移動します。コントロールパネルまたはリモコンの **Enter** ボタンを押してサブメニューを選択します。

サブメニューで **+** または **+** を押して選択します。アイテムが選択されている場合、アイテムの色が濃い青色に変わります。コントロールパネルまたはリモコンの **-** または **+** を使って設定を調整します。

前の OSD に戻るには、戻る タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの **Enter** ボタンを押します。

OSD を終了するには、終了 タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの **Enter** ボタンを押します。

画像設定





明るさ — ⊖ と ⊕ を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト — ⊖ と ⊕ を使って画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。コントラストを調整すると、イメージの白黒要素が増減します。

色温度 — 色温度設定を調整します。温度が高いほど画面は青くなり、温度が低いほど画面は赤くなります。ユーザーモードでは、"カラー設定"メニューの値が有効になります。

ユーザー定義の色 — このモードでは、赤、緑、青の色設定を手動で調整できます。3つの値を変更すると、色温度が自動的に"ユーザー"に変更されます。**ユーザー定義の色**を押してから、**カラー設定**メニューに進みます。

垂直台形 — プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。

水平台形 — プロジェクタの位置を水平方向に移動したことによって起こるゆがみを調整します。

自動台形 — オンを選択すると、プロジェクタの傾斜による縦のゆがみの自動修正が有効になります。オフを選択すると、自動修正は無効になります。

半自動台形 — オンを選択してEnterを押すと、画像のゆがみの半自動台形修正が有効になります。有効になると、一定の画像パターンが表示されます。その後、次の手順に従って設定を行います。

- 投射画像の表示を画面の適切な場所に調整します。
- 上、下、左、右のボタンを使用して1つのコーナーを選択し、**Enter**キーを押して台形修正モードに入ります。
- 上、下、左、右のボタンを使用して角度を動かし、**Enter**を押して確定します。

ズーム — ⊕ を押すと、投射画面の画像がデジタルで10倍まで拡大されます。⊖ を押すと、拡大された画像が縮小します。

アスペクト比 — アスペクト比を選択し、画像の表示方法を調整します。

- 1:1 — 入力ソースを調整なしでそのまま表示します。
以下のいずれかの場合、1:1アスペクト比を使用します。
- VGAケーブルとコンピュータの解像度がSXGA+ (1400 x 1050) 以下の場合

- コンポーネントケーブル (720p, 576i/p, 480i/p)
- S-Video ケーブル
- コンポジットケーブル
- 16:9 - 入力ソースを画面の幅に合わせて調整します。
- 4:3 - 入力ソースを画面に合わせて調整します。
以下のいずれかの場合、16:9 または 4:3 を使用します。
 - コンピュータの解像度が SXGA+ 以上の場合
 - コンポーネントケーブル (1080i/p)

ビデオモード—モードを選択し、プロジェクタの用途に基づいて表示画像を最適化します。モードには、Movie、Game、PC、sRGB (より正確な色を表示)、User (好みの設定) があります。白の強度またはガンマ低下を調整する場合、プロジェクタは自動的に User に切り替わります。

白の強度—0 に設定すると色の再現を最大化し、10 に設定すると明るさを最大化します。

ガンマ低下—1 ~ 4 の間で設定し、画面の色の性能を変更します。既定の設定は 3 です。

オーディオメニュー



音量—⊖ を押して音量を下げ、⊕ を押して音量を上げます。

高音—オーディオソースの高周波数を調整します。⊖ を押して高音を弱くし、⊕ を押して高音を強くします。

低音—オーディオソースの低周波数を調整します。⊖ を押して低音を弱くし、⊕ を押して低音を強くします。

ミュート—音を消します。

オーディオソース—出力ソースを HDMI にする場合は HDMI を選択し、出力ソースをオーディオにする場合は Audio を選択します。

プロジェクション設定メニュー



メニュー位置—OSD の画面上の位置を選択します。

投影モード—画像が表示される方法を選択します。

- デスクトップ前面投影 (既定値)。
- デスクトップ背面投影 -- 画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影する場合に選択します。
- 天井取り付け前面投影 -- 画像の上下を逆に表示します。天井取り付けで投影する場合に選択します。
- 天井取り付け背面投影 -- 画像を反転し、上下を逆に表示します。天井取り付けで透過画面の裏面から投影する場合に選択します。

シグナルタイプ—RGB、YCbCr、YPbPr のシグナルタイプを示します。

ランプ使用时间—ランプタイマーがリセットされてからの経過時間が表示されます。

ランプリセット—新しいランプを取り付けた後、**はい** を選択してランプタイマーをリセットします。

省電力モード—**はい** を選択して省電力遅延時間を設定します。遅延時間は、信号がない状態でプロジェクタが待機する時間を指します。この設定時間の後、プロジェクタは省電力モードに入り、ランプが消えます。信号入力が出されたり、電源ボタンが押されると、プロジェクタは再度オンになります。2 時間が経過するとプロジェクタの電源が切れるため、もう一度電源ボタンを押してプロジェクタをオンにする必要があります。

OSD ロック—**はい** を選択して、OSD メニューを非表示にするための **OSD ロック** を有効にします (または、コントロールの Menu (メニュー) ボタンを 15 秒間押します)。または、**いいえ** を選択して、OSD メニューを非表示にするための **OSD ロック** を無効にします (または、コントロールの Menu (メニュー) ボタンをもう一度 15 秒間押します)。

RF_CH 学習—ページ 34 を参照してください。

エコモード—オンを選択すると低電源レベル（250 W）で 프로젝タを動作させます。ランプの寿命が長くなり、動作が静かになりますが、画面投射の明るさはやや暗くなります。**オフ**を選択すると通常の電源（300 W）レベルで動作します。

自動ソース—オン（既定値）を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。 프로젝タの電源が入った状態で **SOURCE**（ソース）ボタンを押すと、自動的に次の入力信号を検出します。**オフ**を選択すると、現在の入力信号をロックします。**オフ**が選択された状態で **SOURCE**（ソース）ボタンを押すと、使用したい入力信号を自分で選択することができます。

OSD 時間切れ—OSD 時間切れの遅延時間を調整します。既定の設定値は30秒です。

テストパターン—オンを選択すると、フォーカスと解像度を自己テストする組み込みの**テストパターン**が表示されます。

パスワードを入力して下さい。

パスワード (4文字コード): -

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

+ - ↓ ↑ 選択
 ← 確認

パスワード有効—オンを選択すると、個人用パスワードを1つ設定することができます。**オフ**を選択するとパスワード機能が無効になります。

パスワードの変更—パスワードを変更することができます。


言語メニュー



⊙ または ⊙ を押して OSD の言語を選択します。


PIP 設定メニュー

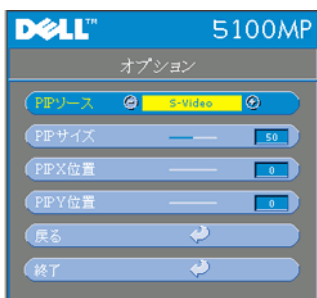


 注 1 : PIP 画像は、次の両方のタイプの信号がプロジェクタに接続されている場合にのみ有効となります。

タイプ 1 : S-Video、コンポジットビデオ、MI-D

タイプ 2 : D-sub、BNC、コンポーネント、HDMI、MI の各信号

 注 2 : 前景と背景の画面を交換するときには、前景画面の最小サイズは、PIP のさまざまな信号ソースの組み合わせによって異なります。



PIP 画像—オンを選択して **オプション** に入り、次の設定を選択します。オフを選択して、PIP 表示機能を無効にします。

PIP ソース—PIP ソースを使用して、前景表示用の表示ソースを1つずつ切り替えます。使用可能な PIP ソースは、現在の基本入力ソースに応じて OSD で選択できます。ソースの可能な組み合わせについては、ページ 51 を参照してください。

PIP サイズ—前景表示の画像サイズを調整します。

PIP X 位置—PIP 表示の水平方向の画像位置を調整します。

PIP Y 位置—PIP 表示の垂直方向の画像位置を調整します。

PBP 画像—オンを選択すると、PBP 表示が有効になります。オフを選択すると、PBP 機能が無効になります。

ネットワーク設定メニュー



DHCP—オンを選択して、DHCP サーバーからプロジェクトに IP アドレスを自動的に割り当てます。オフを選択して、IP アドレスを手動で割り当てます。

IP アドレス—Enter を押して IP アドレスを設定します。左または右ボタンを押して数字の位置を選択し、上または下ボタンで数値を変更します。

サブネットマスク—Enter を押してサブネットマスク番号を設定します。左または右ボタンを押して数字の位置を選択し、上または下ボタンで数値を変更します。

ゲートウェイ—プロジェクトに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。左または右ボタンを押して数字の位置を選択し、上または下ボタンで数値を変更します。

数字の位置を選択し、上または下ボタンで数値を変更します。

DNS—プロジェクトに接続されたネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを入力します。12 個の数字が使用されます。

変更の適用—このボタンを押して設定を確定します。


ネットワーク設定のリセット—既定の設定に戻します。

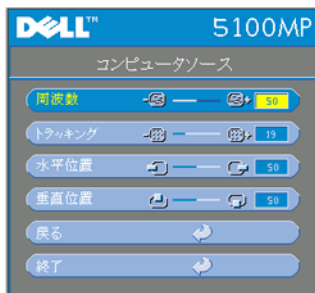
初期値に戻すメニュー



初期値に戻す — はい を選択すると、プロジェクトが工場出荷時の初期設定にリセットされます。コンピュータ画像やビデオ画像の設定もリセットされます。

コンピュータソースメニュー


 **メモ**：このメニューは、コンピュータに接続されている場合のみ有効です。




周波数 — 画面のデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数** 制御を使用して縦線を最小限に抑えます。ここでは粗調整が行われま

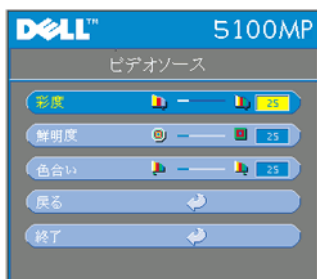
す。
トラッキング — 画面信号の位相をグラフィックカードと同期化します。画像が不安定、またはちらつく場合は、**トラッキング** を使用して修正します。ここでは微調整

が行われます。

 **メモ**：まず **周波数** を調整してから **トラッキング** を調整してください。
水平位置 — ⊖ を押して画像の水平位置を左へ、⊕ を押して水平位置を右へ移動します。
垂直位置 — ⊖ を押して画像の垂直位置を下へ、⊕ を押して垂直位置を上へ移動します。

ビデオソース メニュー

 **メモ**：このメニューは S-Video、ビデオ（コンポジット）信号がある場合のみ有効です。



彩度—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。⊖を押して画像のカラー量を減少させ、⊕を押してカラー量を増加させます。

鮮明度—⊖を押して鮮明度を下げ、⊕を押して鮮明度を上げます。

色合い—⊖を押して画像の緑色の量を増加させ、⊕を押して赤色の量を増加させます。

RF 学習



リモコンとプロジェクタ間の **RF** チャネルを変更するための自動学習

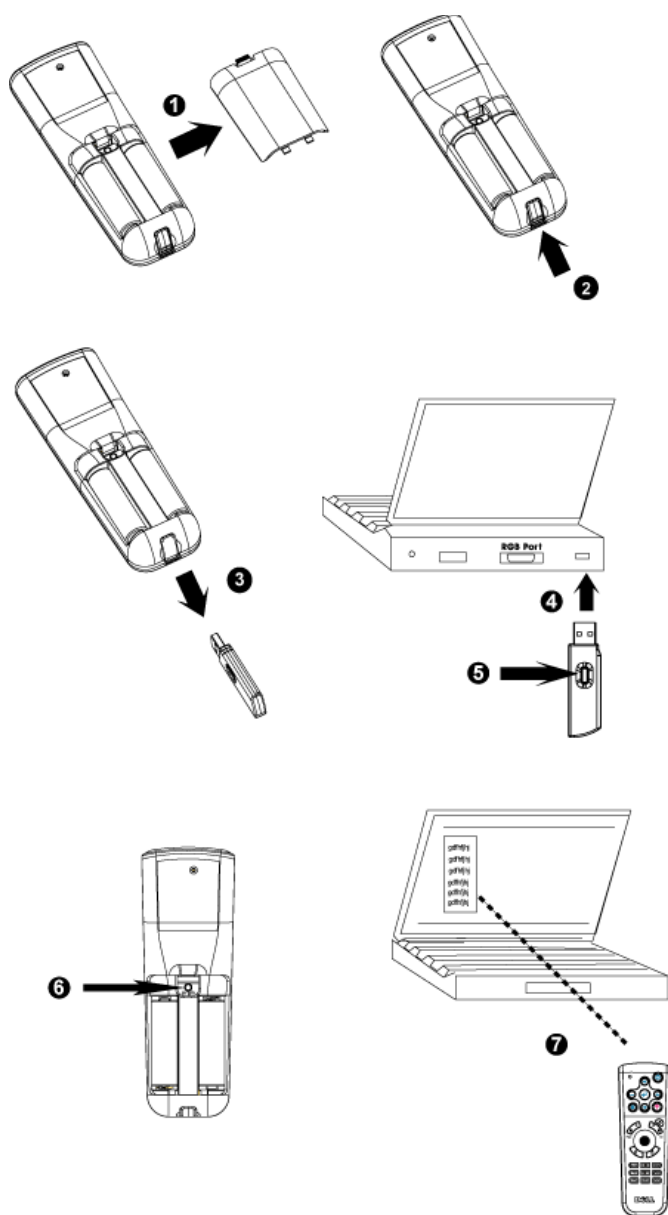
- プロジェクタの電源を入れます。
- コントロールパネルの "Menu (メニュー)" ボタンを押して、"**プロジェクション設定**-->**RF_Ch_学習**" メニューに入ります。
- コントロールボタンではいを選択して、**Learning Standby (学習スタンバイ)** モードに入ります。プロジェクタが **RF Learning (RF 学習)** のスタンバイモードに切り替わり、**RF Learning (RF 学習)** メニューが表示されます。
- リモコンの電池カバーを開けて **Prgm** ボタンを押し、リモコンとプロジェクタの **RF Learning (RF 学習)** プロセスを開始します。

RF チャンネルの初期値リセット

- RF Learning Setting (RF 学習設定) メニューで Yes (はい) を選択し、RF Reset to Default (RF 初期値リセット) メニューに入ります。Reset to Default Channel (初期値のチャンネルにリセット) を選択すると、プロジェクトのチャンネルが初期値に戻ります。
- リモコンの Prgm ボタンを 5 秒間押して、トランスミッタを初期値のチャンネルに戻します。
- リモコンのトランスミッタでプロジェクトを制御できれば、リモコンとプロジェクトの両方が正常に初期値のチャンネルにリセットされたことを確認できます。

リモコンと **USB** ワイヤレス ドングル間の **RF** チャンネルを変更するための自動学習

ステップ 1	リモコンのカバーを開けます。
ステップ 2	ドングルを押します。
ステップ 3	リモコンからドングルを取り外します。
ステップ 4	デスクトップまたはノートブックコンピュータの USB ポートにドングルを差し込むと、ドングルが赤くなります。
ステップ 5	ドングルの LED ボタンを押すと、ドングルが 13 秒間 " 赤く " 点滅します。
ステップ 6	13 秒以内にリモコン背面の Prgm ボタンを押して、 RF Learning (RF 学習) プロセスを開始します。 <ul style="list-style-type: none">• プロセスが正常であれば、ドングルの LED は " 赤 " のまま点滅が止まります。• プロセスが終了すると、リモコンを使用したマウス機能のチェックが可能になり、ドングルの LED が " 緑 " になります。
ステップ 7	リモコンを使用してデスクトップまたはノートブックコンピュータを制御します。



Web Management からプロジェクトを管理するには

ネットワーク設定の構成

プロジェクトがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定 (TCP/IP) を構成することにより、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク機能を使用する場合は、固有の IP アドレスを使用する必要があります。ネットワーク設定の構成については、ページ 32 のネットワーク設定メニューを参照してください。

Web Management へのアクセス

Internet Explorer 5.0 以上または Netscape Navigator 7.0 以上を使用して、IP アドレスを入力します。これで、**Web Management** にアクセスしてリモートの場所からプロジェクトを管理できます。

プロパティの管理

ホーム

DELL™ 5100MP Web Management

ホーム

DELL 5100MP のネットワーク管理

プロジェクト情報

グループ名:	5100MP
プロジェクト名:	D12020
場所:	
連絡先:	
ステータス:	スタンバイ
ランプ時間:	0 時
バージョン:	A0.60
IPアドレス:	192.168.4.50
MACアドレス:	00:60:E9:01:2E:F4
管理者パスワード:	無効にする

言語

Japanese (日本語)

グループ名、プロジェクト名、場所、連絡先、ランプ時間、ファームウェアバージョン、IP アドレス、MAC アドレス、管理パスワードの情報が表示されます。

ネットワーク設定

ページ 32 の OSD の説明を参照してください。

DELL™ 5100MP Web Management

ホーム

ネットワーク設定

プロジェクトステータスと制御

電子メール警報

パスワード設定

ネットワーク設定

グループ名: 5100MP

プロジェクト名: D12020

場所:

連絡先:

送信

DHCP 手動

IPアドレス: 192.168.4.50

サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイ: 192.168.4.254

DNSサーバー: 192.168.1.35

送信

- このタブに、グループ名、プロジェクト名、場所、連絡先の情報を入力し、**Submit (送信)** を押して設定を確定します。
- **DHCP** を選択して、**DHCP** サーバーからプロジェクトに自動的に IP アドレスを割り当てるか、**手動** を選択して、手動で IP アドレスを割り当てます。

プロジェクタステータスと制御

この機能は、OSD の機能と同じです。

DELL™ 5100MP Web Management

ホーム

ネットワーク設定

プロジェクタステータスと制御

電子メール 警報

パスワード 設定

プロジェクタステータスと制御

プロジェクタステータス

プロジェクタステータス

省電力

ランプ時間

エラーステータス

画像制御

操作モード 全出力 エコモード

投影モード

ソース選択

ビデオモード

ブランク画面 オン オフ

アスペクト比 1:1 16:9 4:3

明るさ (0-100)

コントラスト (0-100)

音声制御

音量 (0-30)

プロジェクタステータスと制御を使用して、プロジェクタステータス、画像制御、およびオーディオ制御を管理します。

電子メール警報

DELL™ 5100MP Web Management

ホーム
ネットワーク設定
プロジェクトステータスと制御
電子メール警報
パスワード設定

電子メール警報

メール警報 有効にする 無効にする

送信先 @

CC @

発信元 @

サブジェクト 5100MP-D12020 アラート

SMTP設定

送信SMTPサーバー

ユーザー名

パスワード

警報条件

ランプ警告
 短いランプ寿命
 温度警告

電子メール警報テスト

電子メールアドレス、所有者、件名、**警告条件**を設定して、事前に設定された管理者に自動電子メール警告を送信します。



パスワード設定

The screenshot shows the Dell 5100MP Web Management interface. The top navigation bar is blue with the Dell logo and the text "5100MP Web Management". On the left, there is a vertical menu with five items: "ホーム", "ネットワーク設定", "プロジェクトステータスと制御", "電子メール警報", and "パスワード設定". The "パスワード設定" item is highlighted. The main content area is titled "パスワード設定" and contains the following text: "初めて使用している間、パスワード機能を有効にするには、有効にする前にパスワードを設定してください。パスワード機能が有効になると、Web管理に接続するときに管理者パスワードが要求されます。" Below this text, there is a section for "管理者" (Administrator) with the following fields: "パスワード" (Password) with radio buttons for "有効にする" (selected) and "無効にする", and a "送信" (Submit) button; "新規パスワード" (New Password) with a text input field containing six asterisks; and "パスワードの確認" (Confirm Password) with a text input field containing six asterisks and a "送信" (Submit) button.

パスワード設定を使用して管理者のパスワードを設定し、**Web Management** にアクセスします。初めてパスワードを有効にする場合は、まずパスワードを設定しておいてください。パスワード機能が有効になると、**Web Management** にアクセスするときに管理者のパスワードが要求されます。

プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、下記のトラブルシューティングをご覧ください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none">• レンズキャップは外れていますか。プロジェクタの電源は入っていますか。• 外部グラフィックポートが有効であることを確認してください。デルノートパソコンをご使用の場合は、  を押してください。その他のコンピュータについては、取扱説明書をお読みください。• すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてください。"プロジェクタの接続" ページ 8 を参照してください。• コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないかどうか確認してください。• ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください ("ランプの交換" ページ 47 を参照)。• 自己診断テストを実行してください。"ビデオの自己診断" ページ 46 を参照してください。テストパターンの色が正しいことを確認してください。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または正しく表示されません。



解決方法 (続き)

- リモコンまたはコントロールパネルの **Resync (再同期化)** ボタンを押してください。
- デルノートパソコンをご利用の場合は、コンピュータの解像度を XGA (1024 x 768) に設定してください。
 - a これには、Windows デスクトップを右クリックし、**プロパティ** をクリックして **設定** タブを開きます。
 - b ここで外部モニタポートの設定が 1024 x 768 ピクセルになっているかどうか確認してください。
 - c   を押してください。

解像度を変更できない場合や、モニタがフリーズしてしまう場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動してください。

デルノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。

画面にプレゼンテーションが表示されません。

ノートパソコンをご使用の場合は、  を押してください。

画像が不安定、またはちらつきます。

OSD の **コンピュータソース** タブでトラッキングを調整します。

画像に縦線が入ります。

OSD の **コンピュータソース** タブで周波数を調整します。

画像の色が正しくありません。

- グラフィックカードの出力信号が緑に同期化しており、VGA を 60 Hz 信号で表示したい場合は、OSD でプロジェクション設定を選択し、シグナルタイプを **RGB** に設定してください。
- 画像の色の問題についての予備的なテストを行うには、自己診断を実行してください (「ビデオの自己診断」を参照)。テストパターンの色が正しいことを確認してください。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合いません。	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整してください。 • 投射画面が規定の距離範囲内にあることを確かめてください (4.9 ft [1.5 m] ~ 39.4 ft [12 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びてしまいます。	<p>プロジェクタは 16:9 DVD を自動的に検出し、アスペクト比を 4:3 (レターボックス) 既定値で全画面に調整します。</p> <p>画像が伸びますので、下記のようにアスペクト比を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 16:9 DVD を再生している場合、DVD プレーヤで 4:3 アスペクト比を選択してください (可能であれば)。 • DVD プレーヤで 4:3 のアスペクト比を選択できない場合、OSD の 画像設定 メニューで 4:3 アスペクト比を選択してください。
画像が反転してしまいます。	OSD の プロジェクション設定 を選択し、 投影モード を調整してください。
ランプが消耗しました、または音を立てます。	<p>ランプに寿命が来ると、消耗して燃え尽きたり、音を立てることがあります。このようなことが起こると、プロジェクタの電源が入らなくなり、ランプが交換されるまで LCD に Lamp Defective (ランプの不良) と表示されます。ランプを交換するには、"ランプの交換" ページ 47 を参照してください。</p>
LAMP ライトがオレンジ色に点灯します。	LAMP ライトがオレンジ色に点灯すると、ランプの交換時期です。
結合がうまくいきません。	<p>LAMP ライトがオレンジ色に点滅すると、ランプカバーが正しく閉じていないことを意味します。ランプカバーをしっかりと閉じてください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
TEMP ライトがオレンジ色に点灯します。	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源を入れてください。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
TEMP ライトがオレンジ色に点滅します。	プロジェクタのファンに不具合が発生しているため、プロジェクタが自動的にシャットダウンします。それでも問題が継続する場合は、デルにお問い合わせください。
リモコンが正しく作動しない、または動作範囲が非常に狭くなっています。	電池がない可能性があります。リモコンからのレーザー光線がぼやけていないかどうか確認してください。ぼやけている場合は、2つの単三電池と交換してください。

ビデオの自己診断

Dell 5100MP プロジェクタはプロジェクタのビデオディスプレイ自己診断を提供しています (ビデオ、S-Video、コンポーネント -i)。ビデオのディスプレイ問題が生じた場合は、この高度機能を使い、自己診断を行ってください。

- プロジェクタの電源を切った後、コントロールパネルの "+" と "-" ボタンを同時に 3 秒間押し、画面が黒くなったら放します。
- もう一度 "+" と "-" ボタンを押すと、診断モードを終了します。
- 自己診断モード中、画面には次の順で 7 色の色が表示されます。

赤 -> 緑 -> 青 -> 白 -> 水色 -> 深緑 -> 黄色。テストパターンの色が正しいことを確認してください。色が正しく表示されない場合は、デルにお問い合わせください。

ランプの交換

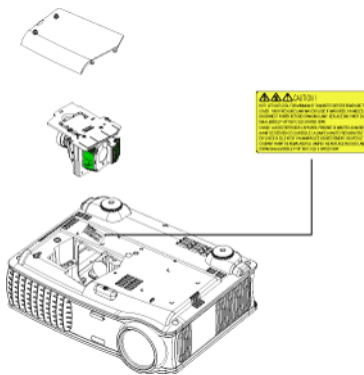
"フル電源で稼働した場合、ランプの寿命が近づいています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps" というメッセージが画面に表示されたら、ランプを交換しましょう。ランプを交換してもこのメッセージが表示される場合は、デルにお問い合わせください。

⚠ 警告：ランプは使用中、非常に高温になります。プロジェクタが冷却するまで、少なくとも**30分**はランプの交換をしないでください。

⚠ 警告：ランプのガラスには絶対に触れないでください。ランプに触れるならど、誤った扱いをすると爆発する恐れがあります。

1. プロジェクタの電源を切り、電源コードを取り外します。
2. プロジェクタを少なくとも 30 分間放置して冷却します。
3. ランプカバーを固定している 2 つのネジを緩め、カバーを外します。
4. ランプを固定している 2 つのネジを緩めます。
5. 金属部分を持ってランプを取り出します。
6. 新しいランプを取り付ける際は、ステップ 1～5 を逆に行ってください。
7. OSD の **プロジェクション設定** タブで左側の **ランプリセット** アイコンを選択し、ランプ使用時間をリセットしてください。

✍ メモ：デルは、保証中に交換されたランプをデルに返却するよう求める場合があります。その他の場合は、お住まいの地域の担当機関にご連絡の上、ランプを正しく廃棄してください。



⚠ 警告：ランプの廃棄（米国のみ）

(Hg) 当製品内部のランプには水銀が含まれているため、お住まいの地域の規定に従い廃棄する必要があります。詳細については、**WWW.DELL.COM/HG** をご覧になるか、または《米》エレクトロニクス産業協会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプの廃棄方法に関する情報は、**WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

仕様

電球	シングルチップ 0.95" SXGA+ DLP™ LVDS (Low-Voltage Differential Signaling) 技術
明るさ	3300 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2500:1 典型 (フルオン/フルオフ)
不変性	80 % 典型 (日本標準 - JBMA)
画素数	1400 x 1050 (SXGA+)
表示可能色	16.7 M 色
カラーホイール速度	100 ~ 127.5 Hz (2X)
投射レンズ	F/2.6 ~ 2.87、f=39.1 ~ 46.92 mm、 1.2x マニュアルズームレンズ
投射画面サイズ	30.8-295.3 インチ (対角)
投射距離	4.9 ~ 39.4 ft (1.5 m ~ 12 m)
ビデオ互換性	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL-M、 PAL-N、SECAM、HDTV (1080i/p、 720p、576i/p、480i/p) 互換性 コンポジットビデオ、コンポーネン トビデオ、S-Video 互換性
水平周波数	15 kHz ~ 100 kHz (アナログ) 30 kHz ~ 64 kHz (デジタル)
垂直周波数	43 Hz ~ 120 Hz (アナログ) 43 Hz ~ 85 Hz (デジタル)
電源	ユニバーサル 90-240V AC 50-60Hz、 PFC 入力
消費電力	400 W (典型)、335 W (エコモー ド)

オーディオ	スピーカー x 2、2 W RMS
ノイズレベル	37 dB(A) フルオンモード、31 dB(A) エコモード
重量	8.2 lbs (3.73 kg)
サイズ (幅 x 高 x 奥行)	外部 13 x 10.3 x 4.5 ± 0.04 インチ (329.8 x 261.4 x 115.2 ± 1 mm)
環境	動作温度：5°C ~ 35°C (41°F ~ 95°F) 湿度：80 % (最大) 保管温度：-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) 湿度：80 % (最大)
規定	FCC、CE、VCCI、UL、cUL、TüV-GS、ICES-003、C-Tick、GOST、PCBC、CCC、PSB、EZU、NOM、S-TuV/Argentina
ネットワークプロトコル	10/100 Base-T TCP/IP ICMP ARP SNMP V1.0 SMTP DHCP HTTP
I/O コネクタ	電源：AC 電源入力ソケット コンピュータ入力：アナログ/デジタル/コンポーネント用 MI-DA x 1、HDTV 入力信号、アナログ入力/コンポーネント用 15 ピン D-sub x 1、HDTV 入力信号、アナログ RGB 入力信号用 BNC R/G/B/H/V x 1 コンピュータ出力：15 ピン D-sub x 1

ビデオ入力：コンポーネントビデオ /HDTV 入力用 RCA コネクタ x 3、ミニ DIN 4 ピン S-Video 入力 x 1、コンポジットビデオ入力用 RCA ジャック x 1

オーディオ入力：電話ジャック x 1 (直径 3.5 mm)

12 V @ 200 mA 出力 DC ジャック、自動投射画面制御用リレーコントロール

ネットワーク用 RJ45 コネクタ x 1

HDMI 入力 x 1

PC からのワイヤリモートプロジェクタ制御用ミニ DIN RS232 x 1

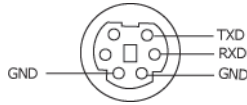
ランプ

300 W ユーザ交換可能 1700 時間ランプ (エコモードで最高 2200 時間)



メモ：プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件でプロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。Dell のプロジェクタに対して指定されたランプ寿命は、ストレスのない操作条件下で、50% 以上のサンプリング集団に対して、ランプの定格された明るさレベルが約 50% 低減した場合の標準時間を参照しています。これは、ランプが光熱出力を停止する時間の単位ではありません。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューを表示し、設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例 : 電源オンコマンド (まずローバイト送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードを確認するには、support.dell.com を参照してください。

PIP のソースの組み合わせ

ソース	M1 RGB	M1 コンポーネント	VGA コンピュータ	VGA コンポーネント	BNC RGB	BNC コンポーネント	RCA コンポーネント	HDMI
S-Video	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP
コンボジット	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP
M1 デジタル	X	X	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP	PIP




メモ : 2つのソースの組み合わせがスケーラの帯域幅を超える場合は、プロジェクタに黒い画像が表示されます。

互換モード

モード	解像度	(アナログ)		(デジタル)	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)
VGA	640 X 350	70	31.5	70	31.5
VGA	640 X 350	85	37.9	85	37.9
VGA	640 X 400	85	37.9	85	37.9
VGA	640 X 480	60	31.5	60	31.5
VGA	640 X 480	72	37.9	72	37.9
VGA	640 X 480	75	37.5	75	37.5
VGA	640 X 480	85	43.3	85	43.3
VGA	720 X 400	70	31.5	70	31.5
VGA	720 X 400	85	37.9	85	37.9
SVGA	800 X 600	56	35.2	56	35.2
SVGA	800 X 600	60	37.9	60	37.9
SVGA	800 X 600	72	48.1	72	48.1
SVGA	800 X 600	75	46.9	75	46.9
SVGA	800 X 600	85	53.7	85	53.7
XGA	1024 X 768	43.4	35.5	-	-
XGA	1024 X 768	60	48.4	60	48.4
XGA	1024 X 768	70	56.5	70	56.5
XGA	1024 X 768	75	60	75	60
XGA	1024 X 768	85	68.7	-	-
SXGA	1280 X 1024	60	63.98	60	63.98
SXGA	1280 X 1024	75	79.98	-	-
SXGA	1280 x 1024	85	91.1	-	-
*SXGA+	1400 x 1050	60	63.98	-	-
*UXGA	1600 x 1200	60	75	-	-
MAC LC13*	640 X 480	66.66	34.98	-	-
MAC II 13*	640 X 480	66.68	35	-	-
MAC 16*	832 X 624	74.55	49.725	-	-
MAC 19*	1024 X 768	75	60.24	-	-
*MAC	1152 X 870	75.06	68.68	-	-
MAC G4	640 X 480	60	31.35	-	-

MAC G4	640 X 480	120	68.03	-	-
MAC G4	640 X 480	120	97.09	-	-
IMAC DV	640 X 480	117	60	-	-
IMAC DV	800 X 600	95	60	-	-
IMAC DV	1024 X 768	75	60	-	-
IMAC DV	1152 X 870	75	68.49	-	-
IMAC DV	1280 X 960	75	75	-	-
IMAC DV	1280 X 1024	85	91.1	-	-
* 圧縮コンピュータ画像					

 メモ : DVI (M1 - DVI) では、UXGA はサポートされていません。

デルへのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ: インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、またはデル製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

デルでは、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関するデルへのお問い合わせ:

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページの一番下にある**国 / 地域を選択する**ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある**連絡する**をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 デルへの連絡方法を選択します。

付録：用語集

ANSI ルーメン— 高熱出力の単位で、プロジェクタを比較するために用いられています。

アスペクト比 (縦横比)— 最も一般的なアスペクト比は 4:3 (4 × 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式 4:3 アスペクト比です。この場合、画像の幅は画像の高さの 3 分の 4 ということになります。

バックライト— リモコン、プロジェクタのコントロールパネルなど、照明のあるボタンやコントロールを指します。

帯域幅 (バンド幅)— 周波数帯域の下限と上限周波数の差異を示す 1 秒間当たりのサイクル回数 (ヘルツ) を指し、周波数帯域の幅をあらわします。

輝度— ディスプレイや投射画面、または投射デバイスから発せられる光の量を指します。プロジェクタの輝度は ANSI ルーメンによって測定されません。

色温度— 光源の白さを測る方法です。金属ハライドランプはハロゲンや白熱灯と比べると高温となります。

コンポーネントビデオ— オリジナルイメージのすべての要素を含み、高品質のビデオを転送する方法です。これらコンポーネントはルマとクロマと呼ばれており、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されています。コンポーネントビデオは DVD プレーヤやプロジェクタで使用可能です。

コンポジットビデオ— 縦と横の空白化および同期化信号を含む画像信号です。

圧縮— 画像から解像度ラインを検出し、画面領域に画像を合わせる機能です。

圧縮 SVGA— 800x600 の画像を VGA プロジェクタで投射する場合、オリジナルの 800x600 信号は圧縮する必要があります。データはすべての情報を 3 分の 2 のピクセル (307,000 vs 480,000) で表示します。その結果、画像は SVGA のページサイズとなりますが、画質が劣化することとなります。SVGA コンピュータをお使いの場合、VGA を VGA プロジェクタに接続してください。より良い画質が得られます。

圧縮 SXGA— XGA プロジェクタで見られる圧縮 SXGA は、プロジェクタで最大 1280x1024 SXGA 解像度を可能とします。

圧縮 XGA— SVGA プロジェクタで見られる圧縮 XGA は、プロジェクタで最大 1024x768 XGA 解像度を可能とします。

コントラスト比 — 画像の中の明るい部分と暗い部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。以下は投射業界で使われている 2 つのコントラスト比測定方法です。

1 フルオン/オフ — 完全に白い画像 (フルオン) の光出力と完全に黒い画像 (フルオフ) の光出力の比率を測定します。

2 ANSI — 16 の交互となった白と黒の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比が算出されます。

フルオン/オフコントラストは、同じプロジェクタについては常に ANSI コントラストよりも大きな値となります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投射画像のサイズを測定する方法です。ひとつの角から対角線上の角までを測定します。9FT 高、12FT 幅の画面の対角は 15FT となります。この文書では、上記の例のように、対角サイズは従来のコンピュータの規格である 4:3 比率を基準としています。

DLP — Digital Light Processing — Texas Instruments により開発された反射的なディスプレイ技術で、小型操作ミラーを使用しています。光がカラーフィルタを通して DLP ミラーへと転送され、ここで RGB 色を配色して画面に画像を映し出します。DMD とも呼ばれています。

DMD — digital Micro-Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DVI — Digital Visual Interface — プロジェクタやパソコンなどのデジタルデバイス間のデジタルインターフェースを定義します。DVI 対応のデバイスでは、デジタル同士の接続が可能となり、アナログへの変換を省くことができます。そのため、劣化のない画像を実現することができます。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離を指します。

周波数 — 電子信号の 1 秒間当たりの反復速度を指します。単位は Hz です。

Hz — 交互信号の周波数です。周波数の欄をご覧ください。

台形補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投射画像のゆがみ (通常は上部が広く、下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

レーザーポインタ — ペンやタバコほどの大きさのポインタで、小さな電池稼動式の (通常は) 赤いレーザーが含まれており、画面上で非常に顕著な目印となる高密度光線です。

最長距離 — 完全に暗い部屋で使える (十分に明るい) 画像を投影することができる、画面からプロジェクタまでの距離です。

最大画像サイズ— 暗い部屋でプロジェクタが投射することができる最大の画像サイズです。通常、光学の焦点範囲による制限を受けます。

メタルハライドランプ— 多くの中級および高級ポータブルプロジェクタで使用されているランプのタイプです。これらのランプは 1000-2000 時間の "ハーフライフ" 機能を持っています。"ハーフライフ" 機能とは、ランプが徐々に明るさを失い、"ハーフライフ" 地点に達すると新しいものの半分の明るさを持つことを意味します。これらのランプは、街灯で使われている水銀灯のように、非常に "高温" のライトを出力します。白さは "非常に" 白く (多少青みがかっています)、これと比較すると、ハロゲンランプの白さが黄色く見えます。

最短距離— プロジェクタが画面の画像に焦点を合わせることができる最短距離です。

NTSC— 米国で使われているビデオ放送標準です。

PAL— ヨーロッパやその他の国で使われている国際ビデオ放送標準です。NTSC よりも高い解像度を持ちます。

パワーズーム— モータ駆動のズームインとズームアウトができるズームレンズで、通常はプロジェクタのコントロールパネルやリモコンで操作可能です。

反転画像— 画像を水平に反転させる機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像は反対になります。背面投射の場合に画像を反面にすることができます。

RGB— 赤、緑、青— 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニタを指します。

S-Video— 4 ピンのミニ DIN コネクタを使い、ルミナンス (輝度、Y) とクロミナンス (カラー、C) と呼ばれる 2 本のシグナルワイヤーでビデオ情報を送信するビデオ転送規格です。S-Video は Y/C とも呼ばれます。

SECAM— ビデオと放送に関する、フランスおよび国際放送規格です。NTSC よりも高い解像度となります。

SVGA— Super Video Graphics Array— 800 x 600 ピクセルカウント。

SXGA— Super Ultra Graphics Array—1280 x 1024 ピクセルカウント。

UXGA— Ultra Extended Graphics Array—1600 x 1200 ピクセルカウント。

VGA— Video Graphics Array—640 x 480 ピクセルカウント。

XGA— Extra Video Graphics Array— 1024 x 768 ピクセルカウント。

ズームレンズ— 可変式焦点距離のレンズで、操作する側が画像を大きくしたり、小さくしたりして表示することができます。

ズームレンズ比— プロジェクタを固定した状態における最小画像と最大画像の比率です。たとえば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

お

- オンスクリーンディスプレイ
 - PIP 設定メニュー, 31
 - オーディオメニュー, 28
 - コンピュータソースメニュー, 33
- ネットワーク設定メニュー, 32
- ビデオソースメニュー, 34
- プロジェクション設定メニュー, 29
- 画像設定メニュー, 26
- 言語メニュー, 31
- 初期値に戻すメニュー, 33

か

- コントロールパネル, 21

さ

- サポート
 - デルへのお問い合わせ, 54
- 仕様
 - I/O コネクタ, 49
 - PIP のソースの組み合わせ, 51
 - RS232 プロトコル, 51
 - オーディオ, 49
 - カラーホイール速度, 48
 - コントラスト比, 48

- サイズ, 49
- ネットワークプロトコル, 49
- ノイズレベル, 49
- ビデオ互換性, 48
- ランプ, 48
- 画素数, 48
- 環境, 49
- 規定, 49
- 互換モード, 52
- 重量, 49
- 消費電力, 49
- 垂直周波数, 48
- 水平周波数, 48
- 電球, 48
- 電源, 48
- 投射レンズ, 48
- 投射画面サイズ, 48
- 投射距離, 48
- 表示可能色, 48
- 不変性, 48
- 明るさ, 48

接続ポート

- 12 V DC リレー出力, 8
- BNC コネクタ, 8
- HDMI コネクタ, 8
- IR 受信部 /RF トランシーバー, 8
- Kensington ロック穴, 8
- M1 信号入力コネクタ, 8
- RJ45 ネットワークコネクタ, 8

RS232 コネクタ, 8
S-Video 入力コネクタ, 8
VGA 出力コネクタ, 8
VGA 入力コネクタ, 8
オーディオ出力コネクタ, 8
オーディオ入力コネクタ, 8
コンポーネントビデオ入力コネクタ, 8
ビデオ入力コネクタ, 8
電源コードコネクタ, 8

た

デルへの
連絡先, 54
デルへのお問い合わせ, 54
トラブルシューティング, 43
デルへのお問い合わせ, 43
自己診断, 46
電話番号, 54
投影されたイメージの調整
, 18
プロジェクタの高さの調整
, 18
プロジェクタの高さを下げる
, 18
プロジェクタを下げる
エレベータフット, 18
エレベータボタン, 18
傾斜調整ホイール, 18

は

プロジェクタのズームと
フォーカスの調整, 19

ズームタブ, 19
フォーカスリング, 19

プロジェクタの接続

12 V DC 電源コード, 14
BNC - VGA ケーブル, 13
D-sub - D-sub ケーブル, 10
D-sub - D-sub ケーブルを使っ
たコンピュータへの接続
, 10
D-sub - YPbPr ケーブル, 11
D-sub - YPbPr ケーブルを使っ
た DVD プレーヤへの接続
, 11
DVD プレーヤへの接続, 11
M1 - D-sub/USB ケーブルを
使ったコンピュータへの
接続, 9
M1 - HDTV ケーブルを使った
DVD プレーヤへの接続
, 11
M1 - HDTV ケーブル, 11
M1A - D-sub/USB ケーブル
, 9
PC との接続, 15
RCA - RCA コンポーネント
ケーブル, 12
RS232 ケーブル, 15-16
コンピュータへの, 9
コンポジットビデオケーブル
, 13
市販の RS232 コントロール
ボックス, 16
市販の RS232 コントロール
ボックスとの接続, 16
自動スクリーン, 14
自動スクリーンの取り付け
, 14

電源コード, 9-16

プロジェクタの電源のオン /
オフ
プロジェクタの電源オフ, 17
プロジェクタの電源オン, 17

本体, 7
エレベータボタン, 7
コントロールパネル, 7
ズームタブ, 7
フォーカスリング, 7
リモコンランシーバー, 7
レンズ, 7
レンズキャップ, 7

ら

ランプの交換, 47
リモコン, 23